

ふいふ伏の名ありりりとそ尚更社郡斎辰
堂前といふもの續目として上条——吉田表
へは教を記をさ——とそ改へくに記之を代
板行——と年代記又武江根津社常陽本
羽鳥禮現ハ倉稻龜命といふハ山城本本體
社神を神代の圖ハ倉稻龜命を羽鳥と——
式ハ大稻忌神社といふ是ことと出——と
出——と事之ハ大稻忌なり

延喜式神名帳ハ出羽国中九戸とありハ所謂
九戸ハ大稻忌月山ハ大稻忌堂ハ中豆依の賣

伊豆波波字志列鹽湯彦副川の九社なり
何處の社も多々神一社——とお殿の神を
とりて中九戸とありお殿ハ多々神あ
れを伊努美まの——とく 天照大神一戸
お殿二戸を更々神を^たお殿三戸と書る
事國史の例之伊豆波神社ハ中中の式社を
れハ多神性^た玉依姫の一戸と見へ——
羽鳥^た禮現と稱するハ後世の事あり——
兼經記七し書ハ羽鳥禮現の拂心辨親等の
おハ——禮をとりありけりといふとあり